

株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
 (コード番号: 3612 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役 副社長執行役員 中林 恵一
 (電話番号: IR・グループコミュニケーション室 03-6887-1300)

2025年2月期 (2024/3/1~2025/2/28)		上期						下期						通期		
		3月 Mar.	4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term	
売上前年比		伸び率 (%)														
国内小売売上	※1	98.0	104.8	101.1	109.0	99.2	101.6	102.1	102.9	94.2	105.2	102.7	98.8		100.7	101.4
店舗売上	※2	97.5	102.4	98.3	109.0	95.6	101.6	100.5	102.1	92.2	104.4	※5 100.4	98.9		99.5	100.0
既存店売上	※3	97.9	103.5	99.4	111.0	96.5	102.3	101.4	103.2	92.7	104.7	※5 100.2	98.8		99.7	100.5
Eコマース売上	※4	100.1	115.1	112.6	109.0	114.3	101.4	108.8	105.9	102.3	108.0	111.7	※4 98.6		105.0	106.9
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数	※2	2,207	2,221	2,217	2,218	2,198	2,181	—	2,200	2,220	2,228	2,279	2,255		—	—
出店		30	16	1	1	7	5	60	25	20	9	3	1		58	118
退店		15	2	5	0	27	22	71	6	0	1	0	25		32	103
M&A		8	0	0	0	0	0	8	0	0	0	48	0		48	56
既存店対象店舗数	※3	2,007	2,033	2,040	2,039	2,018	1,990	—	1,993	2,001	2,007	※5 2,011	1,989		—	—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。また、通期の列においては、当期初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみ限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。なお、ラクサス・テクノロジーズ㈱の売上は2024年12月13日のIPOに伴って2025年1月度より除外となり、Eコマースにおいて年間通じて平均6%程度のマイナス影響と試算しております。

※5 2024年12月の店舗売上が100.5%から100.4%へ、既存店売上が100.3%から100.2%へ、既存店対象店舗数が2,012から2,011へ修正されました。下線部をご確認ください。

(当月の概況)

休日数(前年差)

当月

±0

前年同月

△1

当月は、国内小売売上が前年同月比98.8%となり、内訳は店舗売上が同98.9%、Eコマース売上が同98.6%となりました。既存店売上是前年同月比98.8%でした。休日数の前年差はございません。
 なお、ラクサス・テクノロジーズ㈱の売上は2024年12月13日のIPOに伴って2025年1月度より連結除外(持分法適用会社化)となり、EC売上において年間通じて平均6%程度のマイナス影響と試算しております。
 当月は、店舗販路において、セール売上は防寒アイテムの牽引も力不足で前年に及びませんでした。一方のプロパー売上は、中旬以降の春物展開を背景に、春カラーのニットや成人式などのオケージョンニーズの強さが前年超過の原動力となりました。
 EC販路では、年始から本格化したセール商戦で冬物の消化が順調に進んだほか、店舗販路と同じく、中旬以降はプロパー売上の伸張が支えとなって堅調に推移したものの、対前年ではラクサス剥落のマイナス影響を吸収しきれませんでした。
 アイテム別では、ニットやダウンコート、裏起毛パンツなど冬素材のセールの動向が活発でした。中旬からはセレモニー対応のスーツセットやクラッチバック、通勤対応のテーラードジャケットなどの高稼働が目を引きました。
 ブランド別では、セレクト「ドレステリア」やジュエリー「ココシュニック」、ユーズドセレクト「ラグタグ」といったブランド群の継続的な販売好調に加えて、セール商戦期でも上手に集客力を発揮したアウトレット「ネクストドア」の健闘が光りました。

(参考: 前期実績)

2024年2月期 (2023/4/1~2024/2/29)		上期						下期						通期		
		4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term		
売上前年比		伸び率 (%)														
国内小売売上		105.4	105.7	105.0	111.5	111.1	99.6	106.3	102.1	107.0	101.4	102.5	107.5		103.8	105.1
店舗売上		106.0	105.5	105.0	113.6	113.0	100.4	107.2	100.7	107.2	101.4	101.1	106.4		103.0	105.1
既存店売上		109.7	109.2	108.4	118.2	118.2	102.7	110.9	103.7	110.6	104.8	104.7	107.5		105.9	108.3
Eコマース売上		102.8	106.3	105.2	103.6	104.3	96.6	103.2	108.5	106.4	101.6	106.6	110.8		106.6	105.0
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,225	2,223	2,223	2,205	2,202	2,208	—	2,210	2,215	2,218	2,184	2,184		—	—
出店		11	0	1	2	4	11	29	4	6	4	0	10		24	53
退店		10	2	1	20	13	5	51	2	1	1	34	20		58	109
M&A		0	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0	10		10	16
既存店対象店舗数		2,086	2,094	2,091	2,067	2,049	2,048	—	2,052	2,056	2,062	2,022	1,998		—	—